

# ハツカネズミ

*Mus musculus*

ネズミ科



ハツカネズミ

## 名前の由来

ハツカは20日で生まれるから、20日で性成熟するから？ネズミは暗い所に居るので「根棲み」、あるいは「穴棲み」から、「寝盗」からなどの説がある。漢字名：二十日鼠

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(葦原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ

## 形態的特徴

頭胴長（鼻先から尻尾の付け根まで）58～92mm、尾長48～74mm、後足長（後足の指先から踵まで）14～17mm。背面は茶色で腹は灰白色。

類似種：ヒメネズミ。

ヒメネズミは背が赤褐色だが、ハツカネズミは茶色で赤みがない。



ヒメネズミ。赤っぽい。こちらは野ネズミ

## 生息環境・分布

家屋、農耕地、荒地、原野などに生息する。いわゆる家ネズミ。外来種。

分布：国外では、汎世界的に分布。国内では、全国（離島

を含めた大部分）に分布。北海道内では、全域に分布。十勝地方では、全域の平地や農地などに広くみられる。

## 食性・他生物との関わり

主に種子食だが昆虫なども食べる。屋内では種子やその加工品などを好む。

天敵はネコ、イタチ類、タカ・フクロウ類、ヘビ類など。

## 繁殖生態・寿命

野外では春と秋に明瞭な繁殖期を持つが、人間生活に依存するものは通年繁殖している。一度に4～7子を産む。寿命は野外で最長1年半、平均100日だという。

## 興味深い話

- 家ネズミの一つで移入種である。
- 日本のハツカネズミは東南アジアのものと東ヨーロッパ由来のものが交雑したものと考えられている。
- 腎臓が優れていて、水分を再吸収して濃い尿をつくり、渇きに強い。そのため飲み水のない倉庫やコンテナ内でも長期間生きることができ、農作物のコンテナや荷物などに紛れて様々なところに分散し、海外から入り込むことも多いという。

- 闘争時、性行動時、乳を求める際などに超音波を使ってコミュニケーションをとるという。
- 実験などにつかわれるマウスはハツカネズミを品種改良したもの。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期	[Green bar indicating presence throughout the year]											
繁殖期	[Red dashed bar indicating breeding from late winter to late autumn]											

## 参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994  
「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新聞社 1997